|  |
| --- |
| 池田小だより多治見市立池田小学校　H28.12.12 教育目標:やさしく　かしこく　たくましく　苟新（本当に新しくしていく） 元気に登校，笑顔で下校する子･できる学校　　　 |

　　第２弾　　もっと池田小を知っていただくために

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長　　小嶋泉

「苟新」

第１弾を１０月でお知らせしました。今回はその続きです。

明治６年，本校の前身である「池田町屋村立苟新学校」が創立されました。これ以来「苟新」という言葉が今に伝えられていて，ＰＴＡ広報誌の名前にもなっていますし，本校保護者のＯＢ会は「苟新会」です。ですから，皆様も地域の方々もよくご存じの言葉です。

私も本校に赴任以来，この言葉の歴史的な重要性は感じましたし，池田小学校にとってとても大切なものであるということはわかりました。しかし，十分な理解ができませんでした。子どもたちの生活の中で，どのように生かせばよいのかがわかりませんでした。それは，「苟新」を言葉として理解し捉えていたためでした。言葉としてではなく「精神」或いは「理念」として理解し捉えればよいことに気付きました。

「苟新」とは，【苟日新，日日新，又日新《苟に日に新たに，日日に新たに，また日に新たなり》（まことにひにあらたに，ひびにあらたに，またひにあらたなり）大学】からとった言葉です。「まことにひにあらた」という

ことですので，本当に新しく＝真の変化・変革・進歩・成長　と捉えればよいと考えます。

子どもたちは，毎日，授業をすることで少しずつ確実に力を付け，確かに成長・変化をしながら生活しています。友人関係や日々の生活を通して，変化・成長を遂げています。

子ども一人一人の成長を願い，たとえ小さな変化でも前進するために，本当の力（いつでも，どこでも，誰にでも，自分から進んでできる）を付けるために行っている私たちの営みは，苟新です。 ですから，苟新の精神・気持ちを大切にして，子どもたちと私たち大人が一緒になって，全力で池田小の教育を推し進めて行けばよいのです。

「元気に登校，笑顔で下校」

児童玄関に「元気に登校，笑顔で下校」と掲示しています。実はこの言葉の後に（する子・できる学校）とあるのですが，省いています。つまり，私たちは「元気に登校，笑顔で下校」する子であってほしいと願い，それができる学校でなくてはいけないと考えているということです。

「笑顔で下校」できる子は，充実した学校生活を送ることができた子です。友人関係や学習やスポーツなど，充実した一日を過ごすことができてこその笑顔でしょう。安全で安心して過ごせる自分の居場所があり，楽しいことや面白いことがたくさんあったから笑顔で下校し，また明日も学校に来ようと思えるのです。そうした充実した楽しい一日を過ごすことのできる学校生活をつくり出すために，私たち学校の教職員は最善の努力をしようと努めています。

「元気に登校」できるためには，家庭生活の充実が必要です。生活のリズムがきちんとしていて，家族の一員として認められている。そして，家族に愛されているという満たされた気持ちがあってこそです。具体的には，［早寝・早起き・朝ご飯］であり，家族の時間の確保であり，ほめられたりハグされたりすることです。家族の時間は，一緒に読書したり遊んだり，勉強したり食事をしたり，ともに過ごす時間だと思います。

家庭で愛され，学校で大切にされるという，学校と家庭の両方で，しっかりと満たされることが重要であり必要だと考えます。私たちも全力で努力してまいります。

「人を大切にする子」

１１月に，全児童が「人に言われてうれしかった『にこにこ言葉』」を各学級で紹介し，学級１名の代表が全校集会で発表しました。「にこにこ言葉」は心が温かくなる，にこにこ笑顔になるような言葉です。６名の代表のにこにこ言葉をご紹介します。

１年　　みずのかのん　「あそぼ。」

２年　　市おか　か歩　　「大じょうぶ。」

３年　水野あおい　「ありがとう。」

４年　　山口敦也「また明日。」

５年　　藤原心温「ドンマイ，次，次。」

６年渡辺隆斗「いっしょにやろう。」

無に後期がスタートしました。前期同様，お子さんのよりよい成長のために，保護者の皆様と連携して，チーム池田の職員は一丸となって全力を尽くしてまいります。よろしくお願いします。

